



以下に今後のアフターサービス対応の具体的な内容を記載します。

(1) トラブル発生時の対応

基本的には御社保有の予備品へ交換願います。

(2) 不具合品の調査・改修

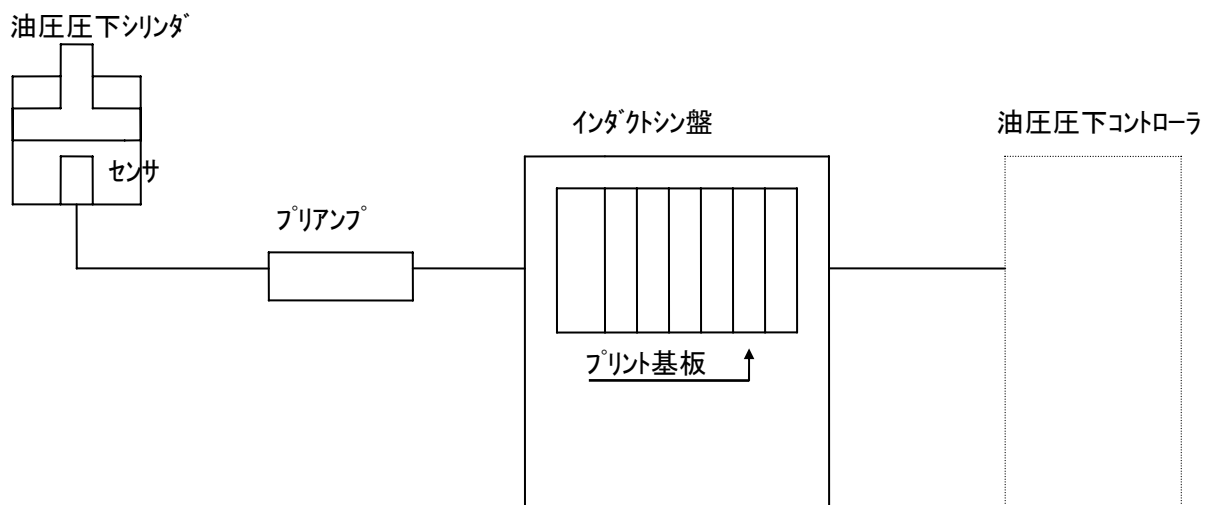
不具合発生した部品は弊社へ送って頂き、弊社検査システムにより不具合個所の追求を実施し、不具合個所の改修を実施します。（ただし、不具合の発生した部品によっては改修困難な場合もあります。）

(3) 緊急対応品

弊社では緊急対応品を保有しておりませんので、御社より緊急な部品貸し出し等の要請がございましたら対応困難ですので御注意願います。なお、新規に製作依頼される場合（製作期限、数量に制限有り）は、表 2 に示す納期を御確認の上発注願います。

表 2 インダクシ盤収納基板の新規製作対応表

基板名称	新規製作納期	MP-SCALE UNIT への置換
CD-A-1	2～4ヶ月	MP-SCALE UNIT 1台で 2ルーフ分の左記基板と置換
CD-C-1	2～4ヶ月	
CD-E	2～4ヶ月	
CD-O	2～4ヶ月	
CD-T	2～4ヶ月	
CD-W-1	2～4ヶ月	
CD-Z	4ヶ月	
CD-D	4ヶ月	
CD-H	4ヶ月	
CD-J	4ヶ月	



### 3. MP-SCALE UNIT への更新

弊社では、数年前より新規製作システムは、全面的にインダクシ盤の後継機種である MP-SCALE UNIT に移行し、現在までに 160 台を納入しています。貴社におかれましても早急なる更新を計画頂くよう宜しくお願い致します。インダクシ盤と MP-SCALE UNIT の比較表を表 2 に示します。(MP-SCALE UNIT の詳細は別紙のカタログを参照願います。)

表 2 インダクシ 盤と MP-SCALE UNIT との比較表

項 目		インダクシ 盤	MP-SCALE UNIT	
センサ部	センサ	スケール/スライダ <sup>°</sup>	同左	
	アンプ <sup>°</sup>	プリアンプ <sup>°</sup>	同左	
	センサ部電気仕様 信号処理	励振(SIN,COS)2kHz の短形波を印可し誘導電圧をフィルタリングにより波形整形後基準波形との位相比較を行なう。	同左	
A/D 変換部	構造	専用制御盤 (max 6 ch/パネル)	UNIT 構造(max2ch/UNIT) (左記盤と同サイズの盤に組み込む場合 max8ch/パネル)	
	外部 I/F	位置実績値 +INH	オープンコレクタ maxDC150V,50mA DATA max19b/ch DATA 1 $\mu$ m インクリメント DATA 更新周期 0.5ms	オープンコレクタ maxDC150V,50mA DATA max19b/ch DATA 1 $\mu$ m インクリメント DATA 更新周期 0.5ms
		正常信号	水銀リレー 接点 max500V,2A	オープンコレクタ maxDC60V,20mA
		位置リセット信号	リレー入力,DC48V	フォトプリア入力 DC24V,DC48V 選択
	位置実績表示	制御盤前面扉に表示器設置	UNIT 前面に表示器をマウント	
	電源装置	制御盤内共通	UNIT 内蔵	

上表に示す通りセンサアンプは全く同じ物を使用し、上位計算機側と I/F 仕様もインダクシ盤との互換性を考慮し製作されておりますので、インダクシ 盤を MP-SCALE UNIT へ置き換える場合、センサ側及び上位計算機側の改造なく実施できます。具体的な置換え方法(案)を以下に示します。

#### (1) 既設インダクシ 盤の筐体を使用する場合

- ① 盤内機器の撤去
- ② MP-SCALE UNIT の組み込み(取付バーの部分加工必要)
- ③ 盤内配線(新規:MP-SCALE UNIT と外部 TB 間ケーブル)

#### (2) 新規に MP-SCALE 盤を設置する場合

- ① 外部配線取り外し
- ② インダクシ 盤撤去
- ③ MP-SCALE 盤設置
- ④ 外部配線復旧